

## 平成26年度事業評価結果に対する検討結果報告書

事業番号	事業名	事業担当課
9	観光事業	商業観光課

事業評価の判定結果	市の対応方針
見直し	見直し

### 1 概要

主な見直し事項
市の観光事業 観光協会が行っている事業

対応方針等の具体的内容
<市の観光事業 産業振興計画による情報発信強化等の見直し> 平成25～26年度に実施している緊急雇用創出事業臨時特例基金市町村補助金事業では、観光情報の発信力の強化を進めました。平成27年度以降は強化した内容を活用して観光資源のルート化（観光スポットをつなぐ周遊コースの作成）など新たな観光情報をホームページ等で発信することで、交流人口の増加に繋げるとともに、本市のイメージアップを図ります。 <観光協会が行っている事業 既存事業の見直しと自主財源確保への働きかけ> 本市の産業振興計画の見直しと並行して、観光協会の既存事業についても、費用対効果等を精査、検討し、事業そのものを廃止したり、対象者となる観光客を絞り込んで実施したりするなどの見直しを行うことで、事業効果の向上を見込みます。 また、観光協会が財政的に自立できるようインターネットを活用した名産品の販売など自主財源を確保する取り組みを積極的に展開するよう働きかけます。

財政的効果		
平成27年度予算額(案) (千円)(A)	平成26年度予算額 (千円)(B)	差引額(千円) (A)－(B)
14,183	49,083	▲ 34,900

特記事項
平成26年度予算額は、起業支援型地域雇用創造事業委託金36,900千円が含まれています。 平成27年度予算額には隔年で作成している観光マップ製作費2,000千円が含まれています。

※平成27年度予算額(案)は、平成27年度平塚市各会計予算が平塚市議会で可決されることによつて確定するものです。

## 2 各意見等に対する見解

作業メンバーの意見、作業シートの記載内容に対する見解	
<b>(1) 事業の成果について</b> ・事業効果(成果)の意識があまりにも乏しいので、目標値を明示して達成率を公表すべき。(経済効果を何で測るか。販売額?雇用数?) ・活動指標、成果指標をしっかりと設定してそれをフォローすべき。	
(検討結果等)	現在策定を進めている産業振興計画(仮称)「アクションプラン」に、観光振興に関するプラン(重点施策)を位置づけ、達成目標として、「入込観光客の数」を設けることとしており、この目標の達成に向けてプランを推進するとともに、達成状況を公表します。 ※入込観光客数：神奈川県観光振興対策協議会が、毎年実施している観光施策の基礎資料とするための県内各観光地を訪れる観光客の入込調査。
<b>(2) 地元経済について</b> ・経済を活性化させることが最終目的。ならば、観光の振興を図り、地元はどうやって金を落としていただくかの作戦もセットで。 ・市としては、経済活性化の全体像(作戦)をきちんと作るべき。	
(検討結果等)	市内の様々な観光資源のブラッシュアップや、新たな掘り起こしを行い、様々なターゲットに対応できるよう観光ルート、メニューとして設定、それを全国的に発信するため、情報発信を強化し、新たな観光客を呼び込むとともに、市内での滞在時間の延長を図り、経済効果の向上を図ります。
<b>(3) 戦略について</b> ・婚活ビジネスなど代表的な事業を育てられるようインセンティブを付与する仕組みが必要のように思います。 ・観光協会の自主を早めるために何が必要なのか順位を付けるべき。まずイベントありきでは組織は育たない。まして、NPO法人を育てるために県の予算を取って大金を使うのは筋違い。他に育てる地元の団体があるのでは。目先にとられるのはやめた方がよい。	
(検討結果等)	婚活を切り口とした観光推進事業は、効果的、自主的な事業を進めるため、NPOを活用しましたが、婚活など本市の観光振興へ繋がる取り組みについては今後も観光協会などとの連携を検討していきます。 観光協会は、市民プラザへの移転に合わせ、ホームページのリニューアルなどの情報発信力の強化とともに名産品販売等による自主財源を確保するための事業に取り組んでいます。今後も市として地元主体の観光協会が情報発信、物販、主催事業などでの自主財源の確保が進められるよう運営を支援していきます。
・観光資源の発掘について、平塚市として、七夕祭りの再定義を含めた上で長期的視野によるランドデザインを描いたうえで、観光協会への関与をしてほしい。	
(検討結果等)	七夕まつりを、祭り期間中だけでなく、次に平塚市へ来ていただけるようなきっかけ作りをする情報発信の場として活かします。また年間を通じた七夕まつりの活用等に取り組んでいきます。 市と観光協会との連携のもと観光資源をブラッシュアップし、それらの観光資源を周遊するメニューを充実させることや観光協会独自の周遊ツアーの設定により、また平塚市へ来てもらうよう情報発信するとともに、観光協会でその事業を担えるよう育成していきます。
・PRは十分できていると思うが、事業や市の特徴分析を行い、各産業と連携を広げてもらいたい。	
(検討結果等)	産業活性化会議において、各産業のポテンシャル調査を行っており、その結果を今後の観光振興施策や具体的な事業の企画に十分に活用することとしており、各産業と連携した取り組みを行っていきます。一例として、逸品の店や匠の店の活用などを考えています。 特に平塚市の特性である、いろいろなものがそろっている、都心に近い、体験メニューなどの分析を行い、各産業との取り組みに落とし込んでいきます。
<b>(4) 観光協会について</b> ・市の観光事業の中で、観光協会への補助金、委託金を中心となっているが、そのお金が観光振興につながっているのかに対して疑問がありました。	
(検討結果等)	本市の観光振興については、本市が直接行っている事業とシロギス沖釣り大会や観光フェスティバルなど観光協会が行っている事業、さらに湘南地区観光振興協議会などの各種連携組織が行っている事業を合わせて、それぞれ活用することにより相乗的に交流人口(経済効果)の確保に繋がっているものと考えています。 なお、平成25～26年度については、緊急雇用創出事業臨時特例基金市町村補助金を活用し、観光協会のホームページをリニューアルするなど本市の観光情報の発信体制を強化しました。今までできなかった「ことりっぷ」などの情報誌の作成などを行い、今後はこれらを活用して継続して事業を進め、観光振興に取り組んでいきます。